

# 第58回 特集号 関東高P連大会千葉大会



参加者で埋めつくされた全体会会場（千葉ポートアリーナ）

昨年の七月七日（木）に宇都宮市のホテル東日本宇都宮で開催された関東地区高P連総会で、第五十八回関東地区高P連大会の開催地として承認され、白井前県連会長が関東地区高P連会長に就任されてから、全県あげての準備をしてまいりました。その集大成であるこの大会がどうか成功裏に終わされることを祈りながら当日の朝を迎えました。

県内一般参加者は八四一名を数え、千葉地区を中心とした単位P.T.A会員のべ四〇〇名のご協力により、大会を盛り上げることが出来ました。

また、大会の準備、運営を通して県連の底力を感じ、今後の県連活動も期待出来るものになりました。

梅雨時にも拘わらず、雨も降らず、恵まれた天候の中、第十五回関東地区高等学校PTA連合会大会千葉大会が千葉ポートアリーナにて開会しました。

この度、平成二十四年度県高連会長を拝命しました高橋です。大役を仰せつかり身の引き締まる思いですが、明るく元気に活動へ

○飲酒・喫煙・薬物等の非行問題  
○情報化の進展による不適切な情報の氾濫

A portrait photograph of a middle-aged man with dark hair, wearing a light-colored suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

さて、高校生を取り巻く社会環境は健全育成に適切でない状況が数多く存在しております。

高P連会長 高橋 孝宏  
(千葉県立姉崎高等学校)  
いいたします。

また、昨年の東日本大震災においては、被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに一日早い復興をご祈念申し上げます。

- 親子間の会話やふれあいを通して心豊かな家庭を作る。
- 保護者と教師の対話を通して協力体制の強化を図る。
- 地域団体との交流や情報交換により地域に根付いた学校・PTAを構築する。
- 研修会等により自身の資質向上させる。
- 等、活動を推進できればと思つて上させます。
- 皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。
- おります。

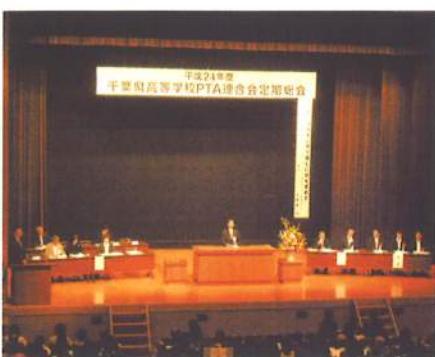
☆総会報告☆

## 二十四年度新体制スタート

県高P連前副会長

田村 清志

(千葉県立検見川高等学校長)



平成二十四年度千葉県高等学校PTA連合会定期総会は、六月六日(水)千葉県教育会館大ホールで開催され、県内加盟校二三三校(四〇名)が参加しました。

稲荷山副会長の開会のことばに続いて白井会長が挨拶に立ちました。会長は、出席者へのお礼と総会へのご協力をお願いするとともに本年度開催される第五十八回関東地区高等学校PTA連合会大会を願いました。また、自然災害から子供を守るために防災体制と防災教育の充実を保護者と学校が連携して進めていく必要性について議事に先立ち、研究集会提案者

議員改選では、別記掲載の新役員が承認され、高橋孝宏会長(姉崎高校)による新体制がスタートすることとなりました。

行政説明では、県教育庁企画管理部教育政策課主幹兼教育立県推進室長大塚一朗様から県の教育施策である千葉県教育基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」についての概要説明がありました。

最後に事務局より全国高等学校PTA連合会であつせんしている

並びに全国・関東大会提案者の四名に表彰状が、また各単Pから推薦があつた一〇九名に感謝状が白井会長から贈呈されました。受賞者を代表して茂原樟陽高校の藤村正浩氏が謝辞を述べられました。

続いて、来賓を代表して、千葉県議会議長の伊藤和男様、県教育庁教育振興部長の重橋聰司様、県議事は徳重、神川副会長が議長団に選出され、進行しました。

平成二十三年度の事業及び会計決算が承認された後、平成二十四年度の活動方針案、事業計画案、予算案が可決承認されました。

議員改選では、別記掲載の新役員が承認され、高橋孝宏会長(姉崎高校)による新体制がスタートすることとなりました。

議事は徳重、神川副会長が議長

団から祝辞を頂きました。

議事は徳重、神川副会長が議長

団から祝辞を頂



関東高P連総会

千葉県立薬園台高等学校  
○TA会長 署本 千会

正月金長 漢本 千絆

木門の絵本の発展の歴史

平成二十四年七月五日(木)関東地区七県の役員の皆様の参加をいただき、ポートプラザちば「ロイヤル」において、平成二十四年度関東地区高等学校PTA連合会総会が十四時より開催されました。

学校PTA連合会大会千葉大会をひかえ、総会は緊張感のある凛とした雰囲気のなか進められました。高橋会長が議長に選出され、昨年度の事業・決算の報告の後、本

年度事業計画・予算の提案がされました。

は、去る七月六日（金）千葉ポートアリーナを会場に開催され、関東各県から三千余名の参加があった。

十二時十分、開会が宣言され、  
関東高P連会長高橋孝宏氏が、學  
校、家庭、地域がより連携を深め  
青少年育成の為に今大会の成果を  
発信し、幅広い活動に役立ててほ

た埼玉県高P連会長・熊谷哲郎氏のみと、地元埼玉のPRをたくさん交えた挨拶をいただきました。最後に関東地区高等学校PTA連合会会則の一部改正が提案され、その議案も拍手をもって承認され全ての審議が終了しました。各県役員の方々からは積極的に意見が出され、千葉大会に向けて皆一丸となつて取り組む姿勢が伺われ、大会の成功を確信することができた総会でした。

(案)が、本県連事務局長であり起草委員会委員長佐々木純氏により発表され、満場の拍手で承認された。さらに次期開催県代表、埼玉県高P連会長熊谷哲郎氏より、埼玉県の魅力と「次世代を担う子供達の成長性に水やりする様な議論を深めたい。」と大会開催の意気込みが語られた。最後に、参加者を代表して橋

について」の行政説明があり、閉会となつた。  
休憩後、松戸市出身の宇宙飛行士山崎直子氏が「絆を求めて！」と宇宙飛行士からのメッセージを演題に、子どもの時空を見て感じた憧れが夢となり実現するまでや、宇宙での生活など、楽しく興味深いお話を聞かせて下さった。里には自分自身の努力、まわりの援助がある。」という言葉が印象的だつた。

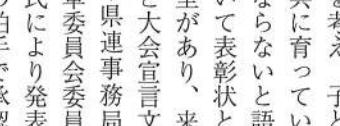
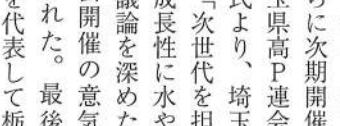
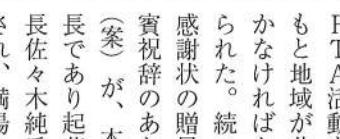
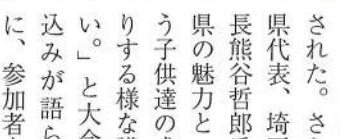
全体会參加報告

千葉県立薬園台高等学校  
PTA副会長 田邊 純子

## 第五十八回関東地区高等学校P TA連合会大会千葉大会の全体会

アリーナを会場に開催され、関東

アトラクションとして県立成田国際高校筝曲部による演奏が行なわれ、会場全体が日本古来の美しい調べに聞き入った。開会前に東日本大震災で亡くなられた方々の冥福を祈つて黙祷が捧げられた。





第四分科会報告

千葉県立市川昂高等学校  
PTA会長 佐々木考子

第四分科会は「家庭教育とP.T.A.」というテーマで千葉県教育会館大ホールを会場に二つの高等学校の発表と協議を行いました。

まず始めに、「家庭教育力を高めるためのPTA活動」というテーマで、埼玉県立幸手商業高等

頂きました。幸手商業高校は平成二十五年四月に幸手高校と統合し、新たに「埼玉県立幸手桜高等学校」となります。まず、家庭教育力の向上が大切であるという観点から、PTA活動をいくつか紹介します。同校は埼玉県の東の端に位置しており夢・感謝・使命感をキーワードとした教育実践があります。その中から感謝を学ぶという点で、毎年商工会主催の物産展や市民祭りに生徒が参加させていただき特に演劇部によるチンドン公演が名物となっています。その他、進学マネープラン、文化祭のリース作りなど、学校の目指す方向をPTAが理解し、家庭教育力を上げて、保護者も学校を支え、子供を見守り育していく様子がよくわかりました。

次に「地域と共に歩むPTA活動」ですが、群馬県立嬬恋高等学校PTA会長の宮崎かおる様に発表頂きました。幸手商業高校は平成二十五年四月に幸手高校と統合し、新たに「埼玉県立幸手桜高等学校」となります。まず、家庭教育力の向上が大切であるという観点から、PTA活動をいくつか紹介します。同校は埼玉県の東の端に位置しており夢・感謝・使命感をキーワードとした教育実践があります。その中から感謝を学ぶと



特別分科会報告

葉市立稻毛高等学校  
育友会会长 日暮

千葉市立稲毛高等学校  
育友会会長 日暮 公世

講演がありました。そこでは、現在、千葉県立学校で実施している同委員会の現在に至るまでの経緯や、各学校での実践例の紹介がありました。

た。 者だけではなく地域住民まで加えで開催されたこと。地域防災に（若く体力のある）高校生が重要な役割を持つていることを意識し、能動的に地域全体を考えた防災についての認識を確認されたとの事でした。加えて、液状化実験装置、非常食の試食会、文化祭での防災活動なども震災前から行つており、防災意識の高さに驚かされました。震災を体験した今でこそ、そういった活動について必要性を強く感じますが、「何時来るかわからない」事への備えを、以前から継続して行つてきた事に対し感心しつつ、今すぐにでも私たちはもうそいつた活動を展開する必要性を強く感じました。

た。 者だけではなく地域住民まで加えで開催されたこと。地域防災に（若く体力のある）高校生が重要な役割を持つていることを意識し、能動的に地域全体を考えた防災についての認識を確認されたとの事でした。加えて、液状化実験装置、非常食の試食会、文化祭での防災活動なども震災前から行つており、防災意識の高さに驚かされました。震災を体験した今でこそ、そういった活動について必要性を強く感じますが、「何時来るかわからない」事への備えを、以前から継続して行つてきた事に対し感心しつつ、今すぐにでも私たちはもうそいつた活動を展開する必要性を強く感じました。

広報紙応募の

お礼と報告

審査をした結果をご報告いたします。今後とも多数のご応募をお待ちしております。



#### 関東大会広報紙掲示の様子



#### 全国大会広報紙掲示の様子



今年の全国大会は、八月二十四日に「和をもつて響き合え!」しつれもて広げる共育の輪」をテーマに和歌山県にて開催されました。大会第一日目の二十三日は、和歌山ビッグホール、和歌山ビッグウェーブの二施設三会場に於いて午前中に開会式、表彰式、全体会が行われて、千葉県では、個人表彰一名、会長表彰二名、団体表彰二団体が表彰されました。受賞された方は、おめでとうございます。そして午後には基調講演が行われました。

開会式の前と昼の休憩中、一部の分科会でアトラクションとして和歌山県立向陽中学校・高等学校吹奏楽部の皆さんのが演奏を始め計十二校による和太鼓、少林寺演

武、箏曲、マンドリン演奏、合唱、軽音楽と多種に亘り繰り広げられ各会場の雰囲気を盛り上げてくださいました。

全国高P連大会参加報告

県高P連副会長 鈴木 恵  
〔千葉県立公一馬橋高等学校〕



ついで「はやぶさ」の経験からお話を頂きました。「高い塔を建ててみたい」と新しい水平線は見えないの言葉が印象に残った言葉でした。

二日目は四施設六会場に分かれ分科会が開催され、それぞれの会場にて各テーマに沿つた活動報告やパネルディスカッションを行われました。

合した映像が全世界に放送され私達の殆どがその映像をメディアを通して見てているそうです。第二部は「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その七年間の歩み」と題して独立法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー・宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系教授の川口純一郎氏のお話を聞きました。オリジナリティの大切さについて「はやぶさ」の経験からお話を頂きました。「高い塔を建ててみたいと新しい水平線は見えない」と新規性の大切さについて語りました。

武、筝曲 マンドリン演奏、合唱、軽音楽と多種に亘り繰り広げられ各会場の雰囲気を盛り上げてくださいました。

人  
葉県立千葉西高等学校  
前会長 白井 平  
(県立天羽高等学校)  
前副会長 神川千恵子  
(県立千葉西高等学校)  
前副会長 德重 昇  
(県立市川昂高等学校)

平成二十四年度 表彰者

全国高等学校PTA連旗が弓ヶ里がれ、盛況の中閉会しました。

今回の全国高等学校PTA連合会大会和歌山大会に参加して一人の人に限界がありますが、全國の同じ志を持つ仲間が集まればどんな事も出来るものだと改めて思い、感慨深い心を持ち今回知り合えた全国の仲間に感謝の気持ちはを込めて心でお礼を言いながら和歌山県高P連スタッフに大きく手を振つて会場を後にしました。



全国大会で受賞された 祢川さん、神川さん、白井さん、徳重さん、加瀬さん  
(左から)

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| 県立船橋高等学校        | 前会長 保坂久美子      |
| 県立野田中央高等学校      | 前学年副委員長 倉持 喜好  |
| 県立天羽高等学校        | 前会長 端戸 繁樹      |
| 県立原樟陽高等学校       | 前監査 藤村 正浩      |
| 県立京葉高等学校        | 前副会長           |
| 平成二十二年度県連副会長    |                |
| 森田 浩通           |                |
| 千葉県立船橋高等学校      | 優良PTA文部科学大臣表彰  |
| 尚、表彰式は十一月十三日（火） | 文部科学省にて実施されます。 |
| おめでとうございます。     |                |

ント続きで一時はどうなることかと思いましたが皆様のご協力によりまして無事終了することができました。本部としてお願ひしておりましたホテルの営業中止や講演者の病臥など想定外の出来事でした。「災い転じて…」の例えではありますましたが、幸いにしてリカバリーにも皆様のご協力を得まして何とか所期の目的を達成することができたかと思います。今後ともご協力よろしくお願ひ申し上げますと共に各単位 P.T.A. のますますのご繁栄を祈念いたしまして御礼の言葉を申し上げ編集後記といったします。

◆関東高P連表彰者

編・集・後・記